

ニューズレター No.19

日本リメディアル教育学会 (JADE)

<http://www.remedial.jp/> 発行人 小野博

2009 (平成 21) 年 4 月 27 日発行

本年度の予定

1. 学会からの送付物

学会誌『リメディアル教育研究』は、ほとんどできていますが、同封の送付物の関係で、ゴールデン・ウィークが開けてから、登録された送付先にお送りします。

2. 理事選挙のための投票用紙

本年は理事の改選の年です。本年の4月1日までに資格を有されている会員に投票の権利があります。信任投票ですので、投票用紙に書いてある理事・監事の氏名の上の欄に、信任できない場合は×をお書きください。そして、同様に同封されている選挙管理委員会宛の封筒に入れて、申し訳ありませんが、郵便切手を貼って送り返してください。無印の場合および返送されない場合は、信任の意思が有りと思わせていただきます。

3. 新年度の学会費納入について

日本リメディアル教育学会の平成21年度の会費納入用紙も、学会誌の封筒に同封します。個人会員4000円、大学会員10000円、企業会員30000円です。事務手続きの簡素化のために、早い時期の納付をお願いします。

4. 第5回全国大会について

「学士教育課程共通で求められる学習成果にむけた新たなリメディアル教育」を大会テーマに、平成21年9月1日(火)・2日(水)の2日間、千歳科学技術大学本部棟において、開催されることとなりました。全国大会では、学士課程全体の中で共通的に求められる学力や学習意欲向上にむけたリメディアル教育という観点に立ち、多くの大学で共通的に活用できる新しいリメディアル教育手法のデザインをメインテーマとして進めていきます。具体的なテ

ーマ設定として、共通的に利活用可能な教育内容のICT化(eラーニングの活用)・学士課程に繋げる自立学習に向けた学習スキル(特に日本語)。個に応じた学習意欲を引き出す組織的な学習支援などを扱っていきます。さらに、学習支援・スキルの産学連携による取組への知見を得るためのセッションも併設します。なお1日には懇親会を計画しています。

(懇親会費予定:5000円,大会参加費予定:2000円,いずれも1人あたり)。

については、本大会での発表を以下の要領で募集いたします。

[1] 発表募集部門:

(1) 研究発表(発表20分+質疑応答10分*)

入学前教育,リメディアル教育,初年次教育に関する研究で未発表のもの。

(2) 実践報告(発表20分+質疑応答10分*)

入学前教育,リメディアル教育,初年次教育に関する実践報告で未発表のもの。

*上記(1)および(2)の発表時間は合計30分を基本としますが、全体の発表件数によっては20分(発表15分+質疑応答5分)とさせていただくことがありますのでご了承ください。

(3) シンポジウム(発表時間:90分~120分,時間は実行委員会できめさせていただきます)

英語部会セッション,日本語部会セッション,学習支援セッション,産学連携セッション,ICT活用セッション

[2] 応募資格:

応募者は学会当日までに年会費(過去の未納分を含む)を納めた日本リメディアル教育学会の個人会員であること。連名の場合は、筆頭者が会員であること。なお、今大会のプログラムを通じて、同一人物が筆頭発表者(登壇者)となるのは一名につき一件とさせていただきます。

[3] 応募方法:

ホームページの 大会発表募集フォーム <http://www.remedial.jp/21conference-announce-form.html> にてお申し込みください。記載していた

だく事項は以下の通りです。

1) 発表区分*:

(「研究発表」「実践報告」「シンポジウム」の区分をお書きください。) *発表区分については応募者の申告に基づきますが、審査結果によっては変更をお願いする場合があります。

2) 分野:

(入学前教育, 初年次教育, 学習支援, 学習スキル, 日本語分野, 自律研究・英語分野, 理数分野, 教育システム分野, テスト分野, 教育支援員養成, e-learning の利用, その他)

3) 題目

4) 発表者全員の氏名, 所属, 連絡先
メールアドレスと電話番号

5) 内容の要約

(日本語による発表の場合は 600 字程度まで, 英語の場合は 300 語程度まで)

使用機器についてですが, 会場では, (パソコン切替器を介した) 液晶プロジェクターのみ利用可能とします。ノートパソコンは各自でご用意ください (ご相談には応じます)。また, 会場からのインターネット接続は別途ご相談ください。

[4] 応募締切:

平成 21 年 6 月 30 日 (木) 24:00 (厳守)

[5] 審査結果:

締め切り後, 内容を審査の上, 発表可否の結果をお知らせします。なお, 発表者には 7 月 30 日 (木) (厳守) までに, 予稿集原稿を提出していただく予定です。その際, 発表申し込み時にお知らせいただいた題目や発表者の変更は受け付けられませんのでご注意ください。

注意事項: 上記原稿提出締め切りに遅れた場合は, 発表申し込みを取り消しとさせていただきますので, ご注意ください。

[6] 企業展示:

今年は, 多くの参加者との交流機会を目的に, 多彩な企画を設定しております。具体的には, 企業関係者によるショートプレゼンテーションの時間の設定

や, 産学連携セッションとジョイントした取り組み紹介などを計画しております。また, ブース展示もオープンスペースでのフリードリンクコーナーを活用して多くの方々と自由な雰囲気でのディスカッションしていただけるよう配慮いたしています。詳しくは大会事務局までお問い合わせください。

問い合わせ先:

大会事務局 09taikai@remedial.jp (発表申込先ではありません)

千歳科学技術大学 川西雪也・増子洋行

ことしもハワイ

昨年9月に実施したハワイでの学会ですが, 好評でした。そのため, 「今年もハワイはないのか」という問い合わせをたまに受けます。それで, ことしも学会員が発表できるハワイでの学会を探しましたら, JUSTEC (Japan-United States Teacher Education Consortium) の会合が9月17日から20日までハワイ大学のマノワ校で実施されます。詳しくは, <http://www.aacte.org/index.php?/Programs/Global/-/International/justec-japan-united-states-teacher-education-consortium.html> をご覧ください。

日本リメディアル教育学会でこの大会に幹旋することはありません。ご自分でお申し込みください。

学会からのお知らせ:

1. 学会誌の原稿を募集しております
2. メディア教育開発センターの閉鎖に伴い, 現在, 学会の事務局を佐賀大学に移す準備をしています。